

資料 3

必修の
基本的事項

医師国家試験出題基準

(平成13年版)

医学総論

医学各論

索引

参考

平成 12 年 6 月

医事試験制度研究会

目 次

医師国家試験改善検討委員会報告書〔概要版〕	I
医師国家試験出題基準改定・ブループリント作成委員会委員名簿	III
医師国家試験出題基準の利用法	V
平成13年医師国家試験出題基準・ブループリントの趣旨	VII
医師国家試験設計表（ブループリント）	VIII
主な検査項目の表記	1
必修の基本的事項	5
医学総論	19
I 保健医療論	20
II 予防と健康管理・増進	23
III 人体の正常構造と機能	27
IV 生殖、発生、成長・発達、加齢	32
V 病因、病態生理	35
<u>VI 症候</u>	39
VII 診察	44
VIII 検査	46
IX 治療	53
医学各論	61
I 先天異常、周産期の異常、成長・発達の異常	62
II 精神・心身医学的疾患	65
III 皮膚・頭頸部疾患	67
IV 呼吸器・胸壁・縦隔疾患	73
V 心臓・血管疾患	76
VI 消化器・腹壁・腹膜疾患	78
VII 血液・造血器疾患	82
VIII 腎・泌尿器・生殖器疾患	84
IX 神経・運動器疾患	88
X 内分泌・代謝・栄養疾患	93
XI アレルギー性疾患、膠原病、免疫病	96
<u>XII 感染症</u>	98
<u>XIII 生活環境因子・職業性因子による疾患</u>	101
索引	
邦文索引	104
欧文索引	128
参考	
医師国家試験の変遷	
医師国家試験改善検討委員会報告書（平成11年4月15日）	
平成9年版と平成13年版の新旧対照表	

V 病因、病態生理 [約13%]

大項目	中項目	小項目
1 疾病と影響因子 約8%	A 疾病の自然経過 B 生活・職業・社会環境と疾病 C ストレス	a 発生病理 b 病期(前臨床期、臨床期) c 病型 a ライフスタイル b 環境因子 c 労働適応 d 妊娠・出産・育児と労働 e 技術革新と健康 a 自律神経・内分泌機能の変化 b 感情と行動の変化 c 疾患の誘発と症状増悪 d 災害、移民
2 先天性異常 約8%	A 原因と分類 B 遺伝形式 C 染色体異常の種類 D 性の分化・成熟の異常	a 単一遺伝子病 b 染色体異常 c 多因子遺伝 d 環境因子による奇形 a Mendel遺伝様式 b 非Mendel遺伝様式 c 遺伝的異質性 d 浸透(率) e 発病年齢 a 染色体異常の原因 b 数的異常(trisomy、monosomy) c 構造異常(欠失、転座、iso染色体) d mosaic
3 損傷、炎症 約8%	A 創傷の種類 B 創傷の治癒過程 C 創傷治癒に影響する因子 D 外傷の病態 E 化学的損傷 F 物理的損傷 G 炎症の局所的变化 H 炎症の全身的变化	a 開放性・非開放性損傷 b 鋭的外力による損傷 c 鈍的外力による損傷 d 銃器による損傷 a 一次治癒、二次治癒 b 肉芽組織、瘢痕組織、ケロイド a 热傷 b 凍傷 c 電撃傷 d 光線損傷 e 放射線損傷 f 摩擦 a 組織反応 b 症候 a 血液の変化 b 代謝性反応

大項目	中項目	小項目
4 感染 約 8 %	I 急性炎症と慢性炎症 J 肉芽組織と肉芽腫 A 感染の概念 B 宿主側の要因 C 垂直感染と水平感染 D 全身感染症 E 輸入感染症 F 性(行為)感染症 (STD) G 人畜共通感染症 H 院内感染症 I 市中感染 (community acquired infection)	c 全身性炎症(性)反応症候群(SIRS) a 病原微生物 b 感染と発症 c 感染経路 d 感染と免疫・アレルギー a compromised host b 日和見感染(opportunistic infection) c キャリア d 二次感染、複数菌感染 e 菌交代現象 f 好中球減少時の感染 a 子宮内感染、産道感染 b 母乳感染 c TORCH症候群 a 敗血症 b 敗血症性ショック(septic shock) a 術後感染 b 薬剤耐性菌 c メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA) d パンコマイシン耐性腸球菌(VRE) e 結核
5 アレルギー、 免疫異常 約 8 %	A 免疫不全 B 自己免疫 C アレルギー反応	a Coombs分類
6 腫瘍 約 8 %	A 腫瘍の疫学 B 腫瘍の病因 C 悪性腫瘍と免疫 D 腫瘍の病態・病理	a 発生率 b 生存率 c 死亡率 a 発癌因子 b 癌と遺伝子異常 a 良性、悪性 b 上皮性、非上皮性 c 前癌病変、異形成 d 潜在癌、上皮内癌 e 早期癌、進行癌 f 浸潤

大項目	中項目	小項目
7 循環障害、臓器不全 約 8 %	A 血行障害 B 梗塞 C リンパ流障害 D ショック E 血圧異常 F 臓器不全	g リンパ行性転移、血行性転移 h 播種 i 悪液質 a 阻血、虚血 b 充血 c うつ血 d 出血 a 血栓 b 塞栓 a 水腫 b リンパ漏 a 原因 b 機序 c 病態 a 高血圧 b 低血圧 c 起立性低血圧 a 臓器不全 b 多臓器不全(MOF)、多臓器機能障害(MODF)
8 内分泌・代謝・栄養の異常 約 8 %	A ホルモンの欠乏と過剰 B エネルギー及び三大栄養素の欠乏と過剰 C 無機質(ミネラル)・必須(微量)元素・必須微量栄養素の欠乏と過剰	a 欠乏と過剰 b ホルモン不応症 a 低栄養 b エネルギーの過剰摂取と肥満
9 中毒、放射線障害 約 8 %	A 中毒の発生要因 B 中毒の病態生理 C 放射線の身体的影響 D 放射線の胎内被曝の影響 E 放射線の遺伝的影响 F 放射線の確率的・非確率的影响	a 化学物質の吸收・代謝・排泄 b 急性中毒、慢性中毒 c 発癌性 d 生殖毒性 e 依存 a 早期障害 b 晩期障害 c 放射線誘発癌 a 妊娠時期と放射線感受性 a 生殖腺線量 b 遺伝有意線量 a 閾線量 b リスク係数

大項目	中項目	小項目
10 医原病 約8%	A 診断に伴う医原病 B 治療に伴う医原病	a 医師の対応による医原病 b 診断操作による医原病
11 死 約20%	A 死の概念と定義 B 突然死 C 異状死 D 死後変化	a 死の判定 b 心臓死 c 脳死 a 乳幼児突然死症候群(SIDS) b 心臓突然死 a 異状死の判断 b 異状死体届出の義務 c 死体検査 d 監察医制度 e 法医解剖、司法解剖、行政解剖 a 早期死体现象 b 晩期死体现象 c 死後経過時間の推定

VI 症候 [約13%]

大項目	中項目	小項目
1 全身症候 約16%	A 発熱 B 全身倦怠感 C 体重減少・増加 D ショック E 意識障害 F 不穏 G けいれん H めまい I 脱水 J 浮腫	
2 皮膚、外表 約8%	A 皮疹 B 粘膜疹 C 爪・毛髪異常 D 癢痒 E 皮膚分泌異常 F デルマドローム G 黄疸 H 手掌紅斑 I クモ状血管腫 (vascular spider) J 母斑 J 小奇形 K リンパ節腫脹 L 褥瘡	a 紅斑 b 紫斑 c 色素異常 d 丘疹 e 結節 f 腫瘍 g 水疱 h 膿疱 i 囊腫 j 膨疹(じんま疹) k びらん l 溃瘍 m 毛細血管拡張(telangiectasia) n 硬化、萎縮 o 鱗屑、痴皮、落屑 p 壊疽 a 発汗 b 皮脂
3 頭頸部、感覚器 約12%	A 顔貌の異常 B 甲状腺腫 C 視力障害 D 視野異常 E 色覚異常 F 夜盲 G 眼精疲労 H 眼痛 I 複視 J 飛蚊症、光視症 K 眼の充血 L 流涙 M 眼脂 N 羞明 O 眼球突出 P 眼球陥凹 Q 眼瞼下垂 R (眼)瞼裂狭小 S 異常眼球運動	a 視野狭窄 b 半盲 c 暗点 a 眼振

大項目	中項目	小項目
	T 眼底出血 U 聴力障害(難聴) V 耳鳴り W 耳痛 X 耳漏 Y 耳閉塞感 Z 嗅覚異常 AA 味覚異常 AB 頭部のしこり AC 歯痛	a 伝音難聴 b 感音難聴
4 呼吸器、心臓、血管 約12%	A 鼻閉 B 鼻汁 C くしゃみ D 鼻出血 E いびき F 咽頭痛 G 咳、喀痰、痰液、咯血 H 嘎声 I 失神 J チアノーゼ K 呼吸リズムの異常 L 呼吸音の異常 M 胸痛、胸内苦悶 N 呼吸困難、息切れ O 呼吸停止 P 胸水 Q 搾指 R 異常心音 S 心雜音 T 不整脈 U 脈拍異常 V 心停止 W 血管性雜音 X 血圧異常 Y 間欠性跛行 Z 低酸素(O_2)血症 AA 高二酸化炭素(CO_2)血症 AB 低二酸化炭素(CO_2)血症	a Adams-Stokes症候群 a Kussmaul呼吸 b Cheyne-Stokes呼吸 c Biot呼吸 d 呼氣延長 a coarse crackles(水泡音) b fine crackles(捻髪音) c wheezes(笛様音) d rhonchi(いびき様音) e 呼吸音消失 f 呼吸音減弱 g 気管支呼吸音 h 胸膜摩擦音 i 声音振盪 j やき音 a III音 b IV音 c opening snap d 収縮中期クリック e 心膜摩擦音 a 無害性雜音 b 駆出性収縮期雜音 c 汎収縮期雜音 d 拡張早期雜音 e 拡張中期雜音 f Austin Flint雜音 a 速脈・遅脈、大脈・小脈、奇脈 a 高血圧 b 低血圧

大項目	中項目	小項目
5 消化器 約8%	A 舌の異常 B 口臭 C 開口障害、 咀しゃく障害 D しゃっくり E 嘔下障害 F 腹痛 G 悪心、嘔吐 H 吐血、下血 I 胸やけ、 おくび(げっぷ) J 便秘、下痢、 (粘)便便 K 蠕動不穩 L 筋性防御 M Blumberg徵候 N 腹部膨隆、腹部膨満 O 腹水	a 舌苔 b イチゴ舌 c 巨大舌 d 潰瘍 e 硬結 f 運動異常 a 嘔下痛 b 通過障害 c 誤嚥
6 血液、造血器、免疫 約12%	A 貧血 B 赤血球增加 C 白血球增加 D 白血球減少 E 好酸球增加 F 好塩基球增加 G 血小板增加 H 血小板減少 I 出血傾向 J 血栓傾向 K 過粘稠度 (hyperviscosity) 症候群 L 易感染性 M 免疫グロブリン異常	
7 腎、泌尿器、生殖器 約8%	A 欠尿、無尿 B 多尿、夜間多尿 C 排尿障害 D 尿性状の異常 E 外性器(外陰)異常 F 女�性器下垂・ 脱出感 G 帯下 H 月経痛、 中間痛(排卵痛) I 月経異常 J 性器出血	a 排尿痛 b 頻尿 c 排尿困難 d 尿閉、残尿 e 尿失禁、遺尿、夜尿 f 尿線の異常 g 二段排尿 h 尿瘻 a 蛋白尿、糖尿、ビリルビン尿 b 血尿 c 腫尿 d 色素尿 e 血精液症

大項目	中項目	小項目
8 心理、精神機能 約 8 %	<p>K 不妊 L 性成熟の異常 M 勃起不全</p> <p>A 知能障害 B 記憶障害 C 精神発達障害 D 失見当 E 知覚障害 F 思考障害 G 感情障害</p> <p>H 自我障害 I 意欲と行動の障害</p> <p>J 睡眠障害、不眠 K 不定愁訴 L 病識欠如 M 疎通性障害 N 失語、失行、失認</p> <p>O 脳局所症状 P 植物状態 Q 失外套症候群、 無動無言症、 閉じ込め症候群 (locked-in syndrome) R 脳器質精神病候群</p>	<p>a 痴呆 b 偽痴呆 a Korsakoff症候群 a 知的障害 b 言語発達遅滞</p> <p>a 錯覚 b 幻覚 a 思路障害 b 妄想 c 強迫、恐怖 a 不安 b 抑うつ c 爽快 d 両極性 e 感情失禁 f 感情鈍麻 a 離人(症) b させられ(作為)体験 a 食欲異常 b 性欲異常 c 精神運動興奮 d 緊張病症候群</p> <p>a Broca失語 b Wernicke失語 c Gerstmann症候群</p>
9 神経、運動器 約 8 %	<p>A 頭痛、頭重感 B 瞳孔異常</p> <p>C 脳神経障害 D 言語障害 E 體膜刺激症状 F 筋萎縮 G 筋緊張異常 H 反射異常</p> <p>I 運動麻痺、筋力低下 J 不随意運動 K 運動失調 L 感覚障害 M 起立・歩行障害 N 平衡障害 O 自律神経障害 P 頭蓋内圧亢進 Q 錐体路症候 R 錐体外路症候 S 脊髄障害</p>	<p>a Horner症候群 b Adie症候群 c Argyll Robertson瞳孔 a Bell麻痺 a 構音障害 b 言語発達遅滞 a Kernig徵候 b Brudzinski徵候</p> <p>a Babinski徵候</p> <p>a 感覚鈍麻 b 異常感覺 c 疼痛</p> <p>a Brown-Séquard症候群</p>

大項目	中項目	小項目
	T 末梢神経障害 U 振戦 V 異常姿勢 W 脊椎運動制限 X 筋肉痛、腰背部痛 Y 関節痛、関節腫張 Z 関節拘縮・強直、 関節動搖性 AA 肩凝り	
10 内分泌、代謝、栄養 約 8 %	A 肥満、やせ B 末端肥大、巨人症 C 低身長 D 無月経、男性化徵候、 女性化乳房 E 糖尿、高・低血糖 F 高脂(質)血症 G 高・低蛋白血症 H 高尿酸血症 I 水・電解質の異常 J 酸・塩基平衡の異常	

XII 感染症 [約 8 %]

大項目	中項目	小項目
1 ウィルス感染症 約20%	A インフルエンザ B アデノウィルス感染症 C RSウィルス感染症 D 流行性耳下腺炎 (ムンブス) E 麻疹 F 風疹 G 突発性発疹 H 急性灰白髄炎 (ボリオ) I コクサッキーウィルス・ECHOウイルス感染症 J 流行性角結膜炎 K 咽頭結膜熱 L ウィルス性下痢症 M 単純ヘルペスウイルス感染症、単純疱疹 N 水痘、帯状疱疹 O EB(Epstein-Barr)ウイルス感染症 P 伝染性紅斑 Q サイトメガロウイルス感染症 R ウィルス性出血熱 S 尖圭コンジローム T 伝染性軟臓腫 U ヒト免疫不全ウイルス(HIV)感染症 V 後天性免疫不全症候群(AIDS) W 日本脳炎 X ウィルス性肝炎 Y 無菌性髄膜炎	ヘルパンギナ、手足口病、急性出血性結膜炎 デング熱、腎症候性出血熱、エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、マールブルグ病、ラッサ熱
2 クラミジア・マイコプラズマ・リケッチャ感染症 約20%	A オウム病 B クラミジア肺炎 C トロコーマ D 非淋菌性尿道炎 E 性器クラミジア感染症 F マイコプラズマ肺炎 G 発疹チフス H ツツガムシ病 I Q熱	

大項目	中項目	小項目
3 細菌感染症、嫌気性菌感染症 約27%	A 敗血症 B レンサ球菌感染症 C 肺炎球菌感染症 D ブドウ球菌感染症、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA) E 淋菌感染症 F 鏽膜炎菌感染症 G 細菌性赤痢 H サルモネラ感染症 I 腸炎ビブリオ感染症 J 病原性大腸菌感染症 K ヘモフィルス感染症 L 百日咳 M コレラ N 大腸菌感染症 O クレブシエラ感染症 P 緑膿菌感染症 Q レジオネラ症 R ジフテリア S ベスト T ヘリコバクター・ピロリ感染症 U 破傷風 V ガス壊疽 W バクテロイデス感染症 X 放線菌症	A・B群レンサ球菌感染症 腸チフス、パラチフス、非チフス性サルモネラ症
4 抗酸菌(マイコバクテリア)感染症 約20%	A 結核 B 非結核性(非定型) 抗酸菌症 C Hansen病(らい)	
5 その他の感染症・害生虫症 約13%	A 梅毒 B Lyme病 C レプトスピラ症 (Weil病) D カンジダ症 E クリプトコッカス症 F アスペルギルス症 G ムコール症 H ノカルジア症 I 白癬 J 癪風 K スポロトリコーシス L アメーバ赤痢 M マラリア N トキソプラズマ症	

大項目	中項目	小項目
	O ニューモシスチス・ カリニ肺炎 P クリプトスボリジウム症 Q トリコモナス症 R 鉤虫症 S 融虫症 T 粪線虫症 U 回虫症 V フィラリア症 〈糸状虫症〉 W アニサキス症 X 日本住血吸虫症 Y 肺吸虫症 Z 肝吸虫症 AA 広節裂頭条虫症 AB 無鉤条虫症 AC 有鉤条虫症、囊虫症 AD エキノコックス症 〈包虫症〉 AE ランブル鞭毛虫症	

III 生活環境因子・職業性因子による疾患 [約 5 %]

大項目	中項目	小項目
1 食中毒および病害動物による疾患 約20%	A 細菌性食中毒 B 化学性食中毒 C 自然毒食中毒 D 旅行者下痢症 E 毒ヘビ F 節足動物	
2 アルコールによる障害および薬物依存・中毒 約30%	A 急性アルコール中毒 B アルコール依存症 C アルコール精神病 D 慢性アルコール性臓器障害 E 眠薬依存・中毒 F 向精神薬依存・中毒 G 解熱鎮痛薬依存・中毒 H 麻薬依存・中毒 I 覚醒剤依存・中毒 J 有機溶剤依存・中毒 K 毒劇物中毒 L 薬物の副作用	Korsakoff精神病、Wernicke脳症
3 産業中毒および他の職業性疾患 約30%	A 金属中毒 B ガス中毒 C 有機溶剤中毒 D 有機化学物質中毒 E 無機化学物質中毒 F 農薬中毒 G 職業癌 H じん肺 I 作業態様による障害 J 職業性アレルギー K 酸素欠乏症 L 過労性疾患	職業性腰痛、職業性頸肩腕障害、VDT作業による障害
4 物理的原因による疾患およびその他の生活環境因子による障害 約20%	A 低温・高温環境による疾患 B 電離放射線障害 C 非電離放射線障害 D 気圧による障害 E 騒音障害 F 振動障害 G 家庭用品による中毒 H 家庭におけるアレルギー・過敏症 I 事故による障害 J 故意の自傷および自殺	交通事故、家庭内事故、自然災害による事故